

## 平成 26 年度精密工学会秋季大会関連事業 「元気の出る新技術講演会—産学・産産連携への集い」報告

精密工学会では、2013 年度から産学連携と産産連携を支援する講演会を始めました。これは企業の皆様に精密工学分野の研究機関との共同研究や関連企業とのビジネス交流の機会を提供させていただくもので、2014 年度の秋季大会でも初日の 9 月 16 日に鳥取大学鳥取キャンパスで開催しました。

例年同様、3 部構成をとり、午前の部では先端企業・技術紹介セッションを開催、午後の第一部では公的補助金説明と大学および公設研究所の研究シーズを紹介しました。そして午後の第二部では、中国四国地区の賛助会員企業の皆様に元気のある技術についてご講演をいただきました。夜の部では、ものづくり関連企業のポスター展示とともに技術交流会（懇親会）を開催し、大学・公設研究所の研究者および参加企業皆様の交流を行いました。講演会には 123 名、技術交流会には 71 名もの多くの皆様に参加していただき、盛況のうちに終了しました。

### 1. 午前の部「賛助会員の会」先端企業・技術紹介セッション

午前の部では、本学会の賛助会員の会が企画する「先端企業・技術紹介セッション」を開催しました。賛助会員へのサービス向上の一環として賛助会員企業の方々から先端技術の紹介をご講演してもらい、会員の皆様に賛助会員企業をよく知ってもらう機会として新たな取り組みとして実施をさせていただきました。

冒頭に、「賛助会員の会」奥田哲司会長（(株)ジェイテクト）のご挨拶をいただき（図 1）、企業 8 社からのご講演は、賛助会員相互の交流や産学連携、産産連携のよいきっかけになりました。

企業 8 社の講演内容は以下の通りです（図 2, 3）。

- 研究開発をサポートする最新の三次元 X 線解析技術  
(株)島津製作所 夏原正仁氏
- NTN の商品化戦略一軸受からモジュール商品へー  
NTN(株) 中島岳岳氏
- 産業用ロボットなど安川電機のメカトロ製品のご紹

介 (株)安川電機 久保田義昭氏

- 最近の超仕上げ加工用砥石 (株)ミズホ 恩地好晶氏
- セイコーインスツルの“SYO”ism ものづくりのご紹介  
セイコーインスツル(株) 木原弘之氏
- DMG 森精機の最新技術・製品の紹介

DMG 森精機(株) 中南成光氏

- 小坂研究所の技術紹介～精密測定機、特殊ポンプからコンビニ弁当まで～

(株)小坂研究所 小坂伊一郎氏

- ジェイテクトの環境対応製品技術の紹介

(株)ジェイテクト 武田稔氏

### 2. 午後の第一部「産学連携のための新技術シーズ講演会」

精密工学会の長江昭充会長（ヤマザキマザック(株)）のご挨拶に引き続き、経済産業省中国経済産業局の田原誠一郎様より、「ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業～戦略的基盤技術高度化支援事業～」と題して、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく精密加工、立体造形等、当学会に密接にかかわる分野の研究開発、試作等の取り組みの支援事業について、ご講演いただきました（図 4）。

次に、産学連携支援として、精密工学の分野で活躍されている 5 名の大学・公的研究所の研究者に下記のシーズについてご講演いただきました（図 5, 6）。

- ヒューマンモデリングに基づくインタフェースデザイン  
広島大学大学院 栗田雄一氏
- 次世代型補聴システムのためのリアルタイム聴覚シミュレータの開発  
鹿児島大学大学院 村越道生氏
- 筋負担を考慮したパーソナルモビリティの提案  
大阪府立大学大学院 中川智皓氏
- ガラスの分相現象を利用した新規のレアメタル分離技術の提案  
鳥取県衛生環境研究所 門木秀幸氏
- 吸引工具による環境対応型電解加工技術の開発  
東京農工大学大学院 夏 恒氏



図 1 奥田会長のご挨拶



図 2 夏原氏によるご講演



図 3 小坂氏によるご講演



図4 田原氏によるご講演



図7 「中国四国支部技術賞」受賞企業による技術講演会（長峰氏）



図5 大学研究者によるシーズ講演（夏氏）



図8 長江会長のご挨拶で開宴



図6 大学研究者によるシーズ講演（中川氏）

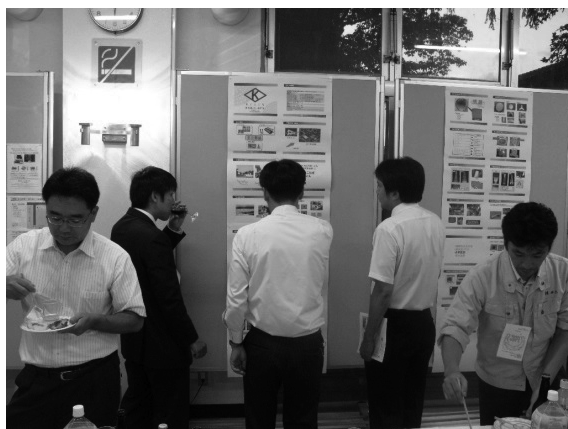


図9 展示ポスター前での意見交換

ご講演内容は、いずれも基礎研究成果をもとに実用化を目指す段階にある高度なシーズの紹介となっており、かつ分かりやすい説明となるよう工夫されたもので、参加者には非常に興味をもって聴いていただきました。今後の産学連携による実用化が期待されます。

### 3. 午後の第二部 技術講演会「元気のある企業の元気の出る技術」

午後の第二部の技術講演会「元気のある企業の元気の出

る技術」では、本学会「中国四国支部技術賞」を受賞された企業5社に“小さくても、こんなに高い技術をもっているぞ”とアピールしていただきました。

講演していただいた企業の講演者と講演題目は以下のとおりです（図7）。

- 精密セラミックス製品の成形技術について  
(株)長峰製作所 長峰考志氏
- 精密板鍛造技術の開発 (株)寺方工作所 岩田成弘氏

- 高品位微細孔加工技術による産業部品の高付加価値化 (株)化繊ノズル製作所 内田路和氏
- 新しい考え方による回転体の釣合わせ (バランシング) シグマ電子工業(株) 津尾政年氏
- 人工関節を取り巻く課題とナカシマメディカルの研究開発 ナカシマメディカル(株) 植月啓太氏

ご講演内容は「中国四国支部技術賞」の内容だけでなく、各企業の技術的強みを盛り込み、参加者に地方の中小企業でも高い技術をもって元気にやっていることを強くアピールされていました。今後、参加された他企業の皆様との産産連携につながれば幸いです。

#### 4. ポスター展示と技術交流会

技術講演会終了後、生協第二食堂に移動して講演者と参加者の技術交流会（懇親会）を行いました（図8）。参加者は71名でした。会場の壁際には技術講演会の講演内容を

をポスター展示していただき、ポスターと日本海の幸を肴にビールや日本酒を飲みながら講演会場とは違った本音の意見交換と親睦が図られていました（図9）。

#### 5. 最 後 に

学術講演会と並行した企画行事として、1日を通して多くの参加者を得て、本会の会員と関連研究者、賛助会員企業および地元企業いずれにとっても有益なイベントとすることができました。これを契機に多くの連携活動が生まれることを期待したいと思います。そして、今後もこの講演会をより活発なものとするべく企画を続けて参りたいと存じます。

最後に、本講演会に多大なるご支援とご協力を賜りました経済産業省中国経済産業局およびご多忙中のところ話題提供をいただいた皆様に御礼申し上げます。